

◆テーマ：臨床指導者と共に取り組む多重課題演習

◆カテゴリー：教育方法（演習）

◆学校概要：横浜市病院協会看護専門学校 横浜市港南区港南台 3-3-1 看護学科 80名 3年制

◆内容：看護の統合と実践 「看護における医療安全」の中の多重課題演習（3年次、11月～12月頃）

【ねらい】 多重課題・時間切迫という状況下で、自分の能力の限界・行動の傾向を知ることができる。また事故防止や倫理的配慮の観点から自己の行動を振り返り、看護を提供する上での優先順位の判断や応援の必要性について考えることができる。

【方法】

- ①看護師役の学生が病室（2人部屋）に援助を行う目的で訪室するが、そこで起こる想定外の状況に遭遇して対応する。（担当する事例に関しては、演習当日に発表あり）
- ②2人部屋の事例については事前に提示し、観察や対応ができるよう学習しておく。
- ③臨地実習施設の臨床指導者が患者役として参加し、リアルな臨床現場の状況を再現してもらう。
- ④2人部屋のもう1人の患者役は学生が行い、観察者役の学生は演習場면을観察しシートにメモする。
- ⑤1事例終了ごとにリフレクションを行い、それぞれの役割から意見を述べあう。
- ⑥全ての演習終了後に、演習を通しての学びをグループ全体で話し合い、学びを共有する。

【学生の学び・感想】

- ・優先度を瞬時に考えて行動することの難しさを知った。
- ・起きてしまった後の対処行動も大切だと感じ、1人でできることなのか、応援を求めるときなのを考え、迅速に行動することが大切だと思った。
- ・ただ声かけをするのではなく、相手の状態を把握した上で対応しなければいけないことを学んだ。
- ・応援要請の際にも、短時間で的確な情報を伝えることの難しさを学んだ。
- ・リアルな臨床現場がイメージできた。



【教員の感想と演習の効果】

- ・想定外の出来事への対応を経験し、リフレクションを通して自己の傾向に気付くことができた。
- ・現場の臨床指導者の参加により、リアルな臨床現場をイメージすることができ、具体的な対応方法等を理解することにつながった。
- ・臨床指導者も学生のレディネスの把握につながり、これから現場で働く新人看護師の指導にも役立つのではないかと推測する。臨床現場との顔の見える関係作りができ、今後の臨床実習においても有益であると考えた。

医療安全チーム代表：伊賀恵美



テーマ	12の窓で学生支援につなげる 入学面談シート
カテゴリー	その他
学校名	横浜市病院協会看護専門学校 3年課程 1学年・定員80名 神奈川県横浜市港南区港南台3-3-1

面談シートを作成する上でこだわった工夫 3つのポイント

- その1 **A4 サイズ1枚でまとめる** → 学生の記載の負担軽減、ファイリングのしやすさ・見返す際のアクション数の軽減
- その2 **12項目の質問を窓方式** → 厳選した12項目の質問をフレームで記載しやすく、パッとみることができる
- その3、**週間予定の欄を設ける** → 学生の生活背景、学習習慣への姿勢などの把握につなげる



▶ 具体的な活用方法 ◀

- ① 新入学の学生全員に紙ベースで配布し、手書き記載を指示する
- ② 各クラスの担任が個人面談時にシートに基づいて面談を行う
- ③ 必要時、追記を行い、面談担当教員のサインをする

★Pickup★
教員の学生支援への想い、守秘義務の順守について伝えています。

○ 回生 入学面談シート		学籍番号：	氏名：	<small>あなたが看護師になるための支援をしていきたいと考えています。 ★この資料は、守秘義務を順守し、個人情報として取り扱います。</small>		
看護師になろうと思ったきっかけ、目指す理由	日常生活の中の困りごと 食事・睡眠・排泄・体質・持病・心理面・感覚など	体調管理の工夫、医療機関への受診状況(あれば)	日常の中での楽しみ(趣味、ご褒美、好きなこと)			
今までの学習の仕方(具体的に) 机におかかって勉強する頻度はどの位だったか (○ または 記載のこと) 試験前のみ・週()日・()時間	看護学生としての学業専念のための準備 これからの学習にはどのように取り組む予定か	モットーや性格 / 思考や行動の癖	困難な場面での対処の方法(思考・行動)			
自身や家族の勤務する(していた)病院や施設など ※ いつ どこで だれが 職種 <small>*実習先にならないように可能な限り配慮します。</small>	これからの学習や学校生活で心配なこと	もう一人の自分がいたら 「今の自分」にどんな声かけをしてあげたいか	その他、担当教員へ伝えておきたいこと			
【 週間予定 】 アルバイト・家庭や家事の予定・勉強予定時間 など。						
月	火	水	木	金	土	日

★導入してみてもの気づき★

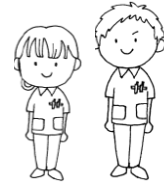
- *従来の A3・折りたたみ形から、A4・1枚にすることでファイリングも見返し「1アクション」で可能となり効率的となった。
- *オーソドックスな質問項目にプラスし、「もう1人の自分がいたら、今の自分にどんな声掛けをしてあげたいか」を追加した。
この項目は、「学生自身の素直な気持ちや感情を表現する」ことにつながっていると感ずることが多く、これから始まる学校生活への意気込みの記載や、自己の性格傾向が表れているような印象をうけるコメントがあった。
- *12の窓フレームにすることで、記載がしやすくなったのか、若干だが以前よりも「記載の空欄」が少なくなった印象がある。
- *今後は、最寄駅や通学時間、初回面談日時の欄をプラスするなど、シートの記載内容を検討していきたい。その際は、学生記載の負担を考慮することを考慮しつつ、学校の教員全体が学生理解につなげられる1つのツールになるよう努めたいと考える。

テーマ： あいうえお作文で創る「感染しない・持ち込まない・拡げない」

■ カテゴリー： その他

■ 学校概要 横浜市病院協会専門学校 3年課程 | 学年定員:80名 修業年限 3年

■ 所在地 神奈川県横浜市港南区港南台 3-3-1



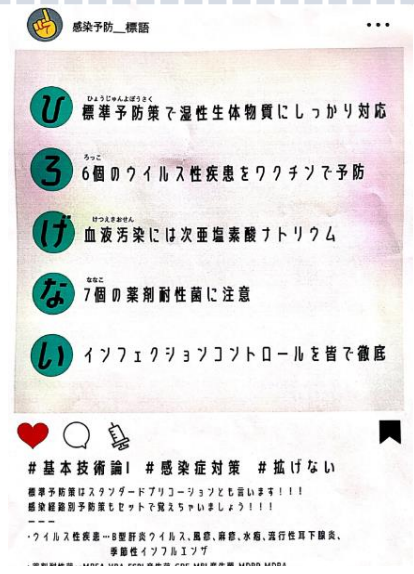
■ 学習目的 看護師に必要な感染対策に知識の整理・定着に役立てる

■ 学習目標 授業の内容をふまえ、あいうえお作文で「感染しない・持ち込まない・拡げない」を創造・表現できる

進め方



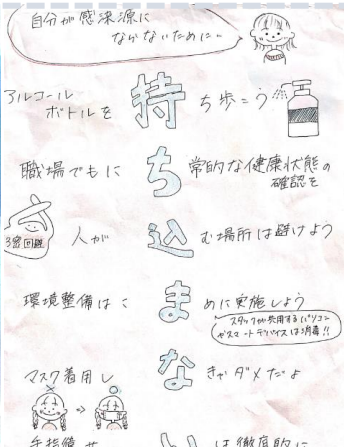
- ① くじ引きで、「感染しない・持ち込まない・拡げない」いずれかを決定する。
- ② 個人で「A4・1枚」の中で、「パッとみてグッとくるインパクトのある工夫」を考え、自由に表現する。
- ③ 発表会当日は、カテゴリーに分かれてホワイトボードに張り出し、発表・共有を行う。
- ④ 各自がベスト1だと思った作品に、付箋を用いて投票する。→ リフレクションを行う。



イラストインパクトNo1・最優秀作品↑

侵入禁止マークと病原体のコラボ↑

拡げない SNS 拡散をイメージした作品↑



思いつかない標語が
とてもためになった

様々な視点から、
スタンダードプリコーションを学べ、
行動への動機づけになった

要点を復習できた

テスト対策になった

クオリティにびっくり
とても楽しかった!

具体策がイメージできた

